

熱海市教育振興審議会 第2回会議結果

開催日時	令和2年3月5日（木） 13時00分～14時00分
開催場所	熱海市役所第3庁舎第1～3会議室
出席者	<p>【出席委員】 石井委員・原委員・當摩委員・長津委員・山田委員・加藤委員 二見委員・川崎委員・池田委員・塩見委員・松岡委員・鈴木委員</p> <p>【欠席委員】 津田委員・清水委員</p> <p>【教育委員会事務局】 教育長・教育委員会事務局次長・学校教育課長・専門監・ 図書館長・教育保育推進室長・総務管理室長</p> <p>【事務局】 学校教育課教育保育推進室</p>
会議内容	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長挨拶 第1回の審議会に続き、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。前回の審議では、当局からの説明があり、限られた時間ではありましたが、各委員よりさまざまなご意見をいただきました。 本日も引き続きご意見を頂戴いただいたのち、総括のうえ、答申に向けて進めてまいりたいと思いますのでご協力をお願いします。</p> <p>3. 審議</p> <p>①「熱海市教育振興基本計画（兼教育大綱）（案）」について ②「学校等施設の適正規模・適正配置計画（案）」について</p> <p>（会長） 今回もまずは、引き続き委員皆様より、どのようなことでも構いませんのでご意見ご質問を頂戴したいと思います。前回は資料5の基本計画（案）から発展し、資料6の学校等施設の適正規模・適正配置計画（案）にも続いたり、戻ったりしたので、どちらでも構わないがいかかが。</p> <p>（委員） 資料5の33ページ以降がこれまでの計画で、40ページ以降が次期の計画でよいか。</p> <p>（教育委員会事務局） そのとおりである。33ページ以降はこれまでの現行計画の実績を記載しており、評価指標がないため実施してきた事業実績を記載している。40ページからが次期計画の目標と施策となっている。</p>

会議内容

(委員)

部活動について、これまでの計画には施策16で部活動の充実をあげているが、次期計画には記載がないように思う。中学校において部活動は重要な活動の一つであるので、触れたほうが良いと思う。

(教育委員会事務局)

次期計画のどこに溶け込ませるかだと思うが、施策13で学校における健康教育の推進と児童生徒の体力向上を掲げている。部活動の補助や指導員の配置もあるので、この中で表現していきたい。

(委員)

資料5の44ページからの読書活動の推進について、現状で読書離れ、本離れが進んでいると感じるので、推進の前に積極的を加えるくらいの取り組みが必要だと考える。

(教育委員会事務局)

調査では読書が好きな子は70%程度いるが、読書量の低下、ゲームやSNSに費やす時間が増加している。また、教員の多忙化解消による影響として朝の読書活動のカットを行っていることもあるので、国語の中で読書や文学作品に触れる時間を持ち、読解や速読に力を入れていきたいと考えている。

(委員)

部活動の現状と今後について教えてほしい。部活動指導員の話もあったが、体育館で行う部活動同士が重なってしまうと利用できない状況があったと聞いた。多賀中や熱海中の現状がどうなっているか。もし、そうしたことがおきている場合には、小学校の体育館の活用をするようなことは考えられないか。

(教育委員会事務局)

生徒数の減少に伴って部活動の数も減ってきていることもあるが、部活動同士がうまくローテーションを組んで無駄のない使用をしている。グラウンドについても同様の状況である。学校へも投げかけ、効率的に使用できるようにしていきたい。

(会長)

会議内容	<p>資料6の学校等施設の適正規模・適正配置計画（案）について、前回も小規模校ならではの特色を活かしてほしいという意見もあった。どちらかに限らず、いかがか。</p> <p>（委員）</p> <p>小学校のクラブ活動は、先生のできることと子どもの希望で決まっていると思う。前回も触れたが、高齢の方が指導に参加することができれば、先生のできることに限らずできるのではないか。</p> <p>（会長）</p> <p>実際に行っている学校があると思うが、どうか。</p> <p>（教育委員会事務局）</p> <p>ゲストティーチャーの制度があり、実施している。桃山小学校では、本物に触れることをテーマに土曜日に4講座を設けた。希望や地域の方との連携を図り進めていきたい。</p> <p>（会長）</p> <p>クラブ活動の中ではどうか。</p> <p>（教育委員会事務局）</p> <p>教科を横断して行っていくことができるので、教育委員会からも発信して、授業のコマ数や地域との連携も工夫できるようにしたい。</p> <p>（会長）</p> <p>令和3年度に向けて網代小学校の統合を進めることになっているが、委員からご意見はないか。</p> <p>（委員）</p> <p>これまでに地域やPTAにも話があり、統合準備委員会も立ち上がっているので今は特にない。</p> <p>（会長）</p> <p>伊豆山小学校も統合を検討することが触れられているが、何かあればお願いし</p>
------	---

たい。

(委員)

通学の関係で、伊豆山から第一小学校に通うことになる、たとえば七尾のほうからだといふ遠いので不安である。

(会長)

統合になった場合の心配ということでよいか。

(委員)

高齢の方が多地域でもあるので、学校への思い入れも強く、なくしてよいという話は聞いていない。

(教育委員会事務局)

網代小学校は令和3年度に統合できるよう話し合いを進めており、その中で、保護者から同じように子どもたちの通学の安全性の確保について意見をいただいている。網代小学校は通学に路線バスを使う方向で考えているが、伊豆山小学校については、バス利用の場合は熱海駅で下車して乗り換えるか、徒歩が考えられる。前回、桃山小学校についてもご意見をいただいたが、統合が決定ではなく、子ども的人数を注視していき、統合を検討する中で、通学についても子どもの安全を確保することを最優先に、保護者の負担軽減の部分も含めて考えていきたい。また、適正規模・適正配置計画は、策定の基本方針でも謳っているが、子ども的人数だけでなく、学校が地域コミュニティの核であると考えており、十分な対応ができるようにしたい。

(委員)

今のところは仕方ないと思う。

(委員)

伊豆山小学校、桃山小学校、第一小学校の校舎の築年数はどのくらいか。

(教育委員会事務局)

第一小学校が平成6年完成なので築25年程度、伊豆山小学校が平成2年なので築30年程度、桃山小学校が昭和60年なので築34年、第二小学校が平成

6・7年なので第一小学校と同時期、多賀小学校が昭和63年なので築30年程度、網代小学校が昭和52年なので築42年、泉小が平成13年、初島小が平成9年、熱海中が一番新しく平成24・25年、多賀中が昭和59年、泉中と初島中は小学校に同じである。

(委員)

第一小学校と桃山小学校、伊豆山小学校が統合した場合は、校舎は新設するか。

(教育委員会事務局)

現時点ではそこまで詰めていないが、統合が決まった時の児童数をふまえて教室や特別教室がどれだけ必要か考えていくことになると思う。

(会長)

資料には、第一小学校が完成した平成6年の児童数も掲載されているので、それも合わせて考えてみるとよいのではないかと。

(委員)

前回の計画審議の際に第一小学校と桃山小学校の統合の話が出て、その時点ですぐ統合する話ではなかったが、保護者はそれだけで不安になり、統合になるなら今のうちから第一小学校に通わせようと学区を飛び越して移動してしまうことが起きた。そのときにも学区とは何なのかとたずねたが、保護者からの申し出が要件を満たしていれば認めるということだったと思う。今回も検討としてはいても、話題として出ているので、同じことが起きるのではないかと。地域コミュニティの核として考えているということだが、逆に崩壊を招いているのではないかと。適正規模については、何をもって適正とするのか第1回の審議会でも話した。専門監も桃山小学校での経験を話していただいたので分かっていると思うが、桃山小学校には独自性がある。通学合宿も第一小学校が最初に始めたがやめてしまった。桃山小学校は今でも続けている。第1回の審議会でも、統合すると市の財政に影響があるかという質問に、施設の管理だけなら大きな影響はないという回答だったと思う。そうしたことも踏まえて十分に検討する必要がある。子どもたちを地域が育てるといいながら、そういう芽を摘むのはどうかと思う。

(教育委員会事務局)

ご意見はごもっともである。適正規模・適正配置の最初の計画は、桃山小学校

と第一小学校の統合だけでなく、網代小学校の校区のこと等、物議をかもした記憶があり、網代小学校については、今回の計画をお示しする前に地域や PTA に説明をさせてもらった。今回の計画では、桃山小学校と伊豆山小学校については令和7年を起点に検討するとしている。各学校や PTA にも協力をいただきながら説明をしていきたい。複式学級が増えすぎること避けるため一定の基準を設けたいが、小規模校の魅力や利点はそれぞれあると思っている。また、平成16年から網代小学校で行ってきた小規模特認校の取組も否定するつもりはない。児童・生徒の教育環境を整えていくことが一番重要であると考えている。

(会長)

委員からの意見は、第1回の審議でも出ていたので、それを踏まえて答申案を考えていきたい。幼稚園や保育園について、副会長から何かあるか。

(副会長)

以前は幼稚園に、現在は保育園に勤務している。これまでの皆さんの意見がとても重要であると身に染みている。個人的な考えであるが、子どもたちは一定の人数がいる中で力をつけ育っていくと感じている。また、地域の関わりや独自のカラーもあり、それぞれの子どもたちを育てる力を感じている。熱海に来てまだ数年だが、保護者から、中学校では人数が少ないため手厚く見てもらえることはよいが、高校で大人数のところにはいるとうまく力を発揮できないという話を聞いたことがある。地域の力もちろん重要だが、ある程度の人数の中で育つ力も大切だと思う。

(会長)

ご意見としてうかがっておく。

(委員)

熱海中と小嵐中の統合、閉校、新生熱海中の開校に PTA として5年携わった。中学だけでなく小学校の保護者も集まり、議論を重ねて無事に済んだ経緯があった。一方で、子どもたちは与えられた環境で育っていくことを見てきた。保護者や地域が協力して子どもたちの教育環境を作ることは大切だが、5年、10年、20年先の子ども姿を考えて整備を行っていくほうがいい。熱海中も小嵐中も耐震性の問題があつて急いでいたが、中学校でも5年かかった。小学校は地域コミュニティの中で重要であることを考えれば、もっと時間が必要で、令和7年に

検討であるならそうした話し合いの場をもう立ち上げていかないといけないのではないか。特に校舎に問題がないのであれば、もう少しかかってもいいかもしれないが、早めにやっていくほうがいい。保護者の中には、今から第一小に行こうかという人もいるので影響は大きい。地域の人には死活問題であるので、ここで今すぐ決めることではないと思うが、小規模、大規模もそれぞれの特徴も考えながら、今すぐ取り掛かるほうがよい。

(教育委員会事務局)

令和2年度早々に計画について説明していきたい。ご指摘のことは網代の地域説明会の時にもいただいており、反省を生かして、機関決定、方針を早めに決め、保護者や地域に説明したい。

(委員)

審議会という場も、教育関係に携わるのも初めてであるが、子どもの教育環境に重点を置いているなら、資料5も6も内容がずれているとは思わない。山口県の松下村塾を見て、明治維新で活躍する人を多く輩出したが、建物が立派だからといいというわけではないと素人ながら思った。計画の10年が長いのか短いのか分からないが、審議された結果を受けて計画となり、子どもたちがタケノコのようにぐんぐん育っていくことにつながるのであればよいと思う。小学校の先生たちは給料がどうのではなく子どもたちが好きなんだと思う。そういう先生の生き様や姿を見て子どもたちは育っていく。地域から学校がなくなることは重要なことだと思うので、教育委員会は十分に考えて決め、信じていることを進めてもらいたい。子どもたちの教育環境を大切にしたいという気持ちが流れていけば問題ないと思うし、応援したい。

(会長)

貴重なご意見としてうかがう。他には、もう一人くらいいいかがか。

(委員)

先ほど各校の築年数はうかがった。耐用年数をどのくらいで考えているか。

(教育委員会事務局)

メンテナンスがしてあれば60年くらいになると思う。

(会長)

当局から何か付け足すことがあるか。

(教育委員会事務局)

今回の計画は10年間で3年ごと見直しを行うが、最近もそうだが国の方針が示されて大きく舵をきることもある。大小はあると思うが、相談が必要な場合はお諮りしたいと考える。

(会長)

ご意見など十分に出していただいたと思うので審議を終了する。

4. 総括

会長より答申案については、第1回、第2回のご意見を踏まえ会長・副会長にて答申原案を作成し、以後、全委員に郵送のうえ、修正の有無を確認後、答申書を完成させることを提案し全会一致で了承された。

5. 今後の流れについて (教育委員会事務局)

答申案調整から答申までのスケジュールを説明

6. 閉会